

第24回北東アジア学会学術研究大会「北東アジア地域協力の新段階構築に向けて」

立命館大学びわこ草津キャンパス「エポック立命21」

最終結果

| | | | |
|--|-----------------------------|---|--|
| 2018年9月29日・土曜日 | | | |
| 10:00-12:00 | | 第9期第3回理事会 | |
| 13:30-17:30 エポック立命21・ホール | | シンポジウム「日中関係の新段階構築にむけて—北東アジアの中で—」エポック立命21・ホール(司会:松野周治) | |
| | | 報告 1. 沈海濤(吉林大学東北アジア研究院教授)「時代変化にふさわしい日中関係の再構築に向けて—国際政治学の立場から—」 2. 権哲男(延辺大学経済管理学院教授)「北東アジア地域経済協力について—朝鮮半島の新しい変化を踏まえて」 3. 田村暁彦(政策研究大学院大学教授)「過渡期の国際政治体制下での日中間の構築的協力の可能性」 | |
| | | コメント 1. 松村史紀(宇都宮大学国際学部) 2. 中戸祐夫(立命館大学国際関係学部) 3. 唱新(福井県立大学経済学部) | |
| | | パネルディスカッション・一般討論 | |
| 18:00-20:00 | | 懇親・交流会 | |
| 分科会・特別セッション(台風接近のため中止。9月30日までに提出された論文による発表。) | | | |
| 分科会A (北東アジア国際関係と中国) | 大西広 三村光弘 李紅梅 | 慶應大学 環日本海経済研究所 吉林大学 | 覇権交替の非協力ゲーム-中国覇権への転換期をどう表現するか- — 一带一路の現状と北東アジアへの拡大 クロスボーダー・サプライチェーン協力に関する一考察—中国東北地域を中心に |
| 分科会B(韓国政治) | 縄倉晶雄 馬場一樹 | 日本大学 立命館大学(院) | 欠損民主主義の視点から捉えた韓国の政党 2002年小泉総理・ケリー国務次官補2つの訪朝の連関性—2レベル・ゲームによる日朝交渉モデルの検討— |
| 分科会C(企画:北東アジアの戦後歴史認識の検証—満洲・台湾・日本の植民地問題の比較を中心に) | 南誠 葉亭葦 野口真広 | 長崎大学 早稲田大学(院) 早稲田大学 | 満洲の歴史記憶に関する日中比較研究の一試み:中国残留日本人を手がかりとして 台湾における漢奸裁判と台湾社会の反応—皇民奉公会を中心に 戦後直後における日本人の植民地記憶—植民地史像の再検討の一例として— |
| 分科会D(環境) | 龍世祥 北川秀樹 横田 将志 | 富山大学 龍谷大学 日本大学 | 循環社会の視角からみた中国之道—グリーンイノベーションと循環型分業をキーワードに— 習近平政権下の環境法政策の進展と課題 北東アジアの環境協力の強化と非サプライチェーン・アクター——東南アジアからの一考察 |
| 分科会E(特別セッション1「ロシアと朝鮮半島問題:現状と展望」人間文化研究機構基幹研究プロジェクト「北東アジア地域研究」北海道大学拠点) | 三村光弘 加藤美保子 堀江典生 | 環日本海経済研究所 北海道大学 富山大学 | 朝鮮半島問題と周辺国の関与 ブーチン時代の対北朝鮮政策:軌跡と展望 ロシアの東方政策と朝鮮半島問題 |
| 分科会F(韓国・朝鮮、北東アジア) | 金ジョンイン/イム・ヒャンオク | 中央大学校/同(院) | 南北関係の改善と未来の経済協力方案(韓国語) |
| 総会(台風接近により中止。10月10日～10月20日まで会員MLにて審議し、承認された。) | | | |
| 分科会H(東アジア) | 陳淑琳・尹清洙 李 晨 李奎・穆堯芋 | 長崎県立大学 慶応義塾大学経済学研究科 島根県立大学(院)・環日本海経済研究所 | IASBにおける東アジア諸国の影響力に関する数量分析～IFRS第15号を実例として Impact of labor force and technological progress on China's economic growth 河南省産業構造の変化と経済発展—産業連関の視点から— |
| 分科会I 北東アジア社会の個性(固有性)と交流 | 韓学珍/李勇澈/鈴木純 金光林 齋藤久美子 | 韓南大学/中部大学/忠南大学 新潟産業大学 和歌山大学 | 韓日二国間における観光イメージ比較による両国の観光競争力向上の為の研究 東アジアにおける族譜の過去と現在 ロシアにおける企業会計と現代の課題 |